

心ゆたかに



小中一貫教育目標「自分らしくともに かがやく」 重点目標「自分のコトバを とどけよう」

【 楽しいことが たくさん待っています 】

夏休み中、大勢のサポーターさんが環境整備をくださった学校に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。登校見守りのサポーターさんから、「おはよう！ 今日からまた頑張ろうね。」という温かい声が響きます。西門では、新しいサポーターさんが声をかけてくださっています。町内連合会長さんも、登下校の見守りに関する協力を、各町内会に呼びかけてくださっています。



教室では、担任の笑顔とともに「楽しいことがたくさん待っているよ！」等のメッセージで、子どもたちを迎えました。夏に見つけたとっておきの「わくわくの種」について、夢中になって友達と語り合う姿がありました。また、夏休みビンゴや宝探し、グループ活動など、担任の様々な仕掛けによって、教室に笑顔がたくさん広がりました。「長月」に入ります。わくわくの学校を、これからも子どもと一緒に創っていきます。

一方で、猛暑がまだまだ続きそうです。安全第一に考え、体育の授業をしばらく中止します。熱中症指数をこまめに確認し、場合によっては外遊びの中止も考えていきます。ご家庭でも、お子さんに十分な睡眠と栄養を、そして、水分や帽子の準備等のご協力をお願いします。

【 人権について考える 学校運営協議会 】

7月に、第2回学校運営協議会が開催されました。今回は、富士市子どもの権利条例をもとに「子どもの人権」「大人の人権感覚」について意見交換をしました。権利と義務という視点、大人の社会の人権問題、吉原北中での取組など、様々な意見が出され、大変有意義な時間となりました。「学校に行くのが楽しい、そんな学校を創ってほしい。」という委員さんの言葉を、大切にしたいと思います。

今年度、人権擁護委員さんと連携し、2・4・6年生で「人権教室」を計画し、授業公開を考えています。学校運営協議会については、CSだよりでも紹介しています。

校長 四條 秀樹

<夏の 富士見台小学校「わくわくの種」コトバ 紹介>

- 7月27日(木)に、富士見台地区福祉推進会主催の「第33回 ぼらんていあスクール」がするが荘にて開催され、22名の児童が参加しました。入所者の方々と温かな触れ合いができ、笑顔がたくさん広がりました。参加した子どもたちから「相手を思いやることが一番大切だと感じました。」「ボランティア活動に参加したい。」という声がありました。
- 「第35回 平和のための富士戦争展」に、6年生の「『私が考える平和』について」が展示されました。「家族みんなでおいしいごはんを食べること」「今あるあたりまえを大切にすること」「お互いに助け合い、笑っていられること」「生き物や自然と共存すること」などといったすてきなコトバが発信されました。子どもから教えられることがたくさんあります。
- 4年生のSさんが、9月24日(日)に新潟県で行われる「わんぱく相撲 全国大会」に出場することになり、森田教育長さんを表敬訪問しました。Sさんの「心の大きさと勝負してきます！」というコトバが光りました。学校や地域みんなでご支援します。